

大使館情報

2020年1月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（12月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

- (1) 第25回閣議の開催
- (2) 軍人年金改革の成立
- (3) 2020年予算案議会承認
- (4) 犯罪対策法案の成立

【外交】

- (1) サレス環境大臣のCOP25出席
- (2) ボルソナーロ大統領のメルコスール首脳会合出席
- (3) アラウージョ外務大臣のアフリカ諸国歴訪
- (4) モラウオン副大統領のアルゼンチン新大統領就任式出席
- (5) 伯米首脳電話会談

3. トピックス

- (1) 伯日友好議連メンバーを招待した山田大使主催のレセプションの開催
- (2) 山田大使によるサンパウロ州訪問
- (3) 令和元年度官民合同会議の開催
- (3) 第23回レシフェ日本市の開催（在レシフェ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等 (12月発表の経済指標)

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、12月27日付公表資料によると、GDP成長率予測については、2019年が1.17%で先週から0.01%上昇（前月から0.18%の上昇）、2020年は2.30%で先週から0.02%上昇。インフレ率予測については、2019年は4.04%で先週から0.06%上昇、2020年は3.61%で先週から0.01%上昇。

(イ) 11月の鉱工業生産指数（季節調整済み）は、前月比▲1.2%、前年同月比▲1.1%となった（12ヶ月累積は▲1.3%）。年末で自動車、機会部品生産の指数が落ち込んだ（▲4.4%）ことによる季節要因。

(ウ) 10月の小売売上高は、前月比+0.1%、前年同月比+4.2%を記録した（12ヶ月累積は1.8%）。

(エ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+1.15%となり、前月の+0.51%から0.65%上昇した。12ヶ月の累計では4.31%となり10月発表の2.54%から上昇した。12月としては2002年以来最高の数値、12ヶ月累計では2018年の3.75%を0.6%近く上回った。対象製品の中では食料・飲料品、輸送、個人経費が12月で最も高い変動を示した。

(オ) 全国の失業率（9～11月の移動平均）は11.2%となり、8～10月の移動平均値（11.6%）から0.4%低下、前年同期比では0.3%低下した。

(カ) 11月の貿易収支は、輸出額は195.76億ドル（前年同月比▲10.56%、前月比▲3.52%）、輸入額は170.29億ドル（前年同月比+5.73%、前月比+3.23%）で、差引き25.47億ドル（前年同月比▲56.02%、前月比▲32.85%）となった。12月単月の貿易収支は55.99億ドルと前年同期比▲12.9%と減少したものの、前月比では米中貿易合意の影響で+63.4%と増加した。

(キ) 経済省は、2019年のブラジルの貿易額について、輸出が前年比▲7.5%の2,240億ドル、輸入は▲3.3%の1,773億ドル、貿易総額は▲5.7%の4,014億ドルとなり、貿易収支は前年比▲19.6%の467億ドルの黒字額となったと発表。世界経済減速と米中貿易摩擦の影響で輸出入額、貿易収支がいずれも前年比で減少した。

(ク) IBGE（地理統計院）は2019年第3四半期の実質GDP成長率を1.2%（前年同期比）と発表した。建設業・鉱業を中心とする工業（+1.0%）、情報サービス業（+4.2%）が伸びを示し、7月のFGTS預金引出し施策による効果で個人消費が伸びた（+1.9%）ことが成長に寄与した。

(ケ) 中銀は四半期インフレレポート（RTI）を発表、2019年のGDP成長率は、民間投資を要因として前回予想の0.9%から1.2%へと上方修正。2020年のブラジルGDP成長率は、民間部門の住宅投資、固定資本形成（FBCF）の増加を要因として、前回予想の+1.8%から+2.2%に上方修正された。

2. 中銀の金融政策等

金融政策委員会が12月10日及び11日に開催され、政策金利（Selic）を0.50%引き下げ、年率4.50%とすることを決定し、政策金利の引き下げは4会合連続で、政策金利は過去最低の水準となった。次回会合は、2020年2月4日及び5日。

3. 為替市場

(ア) 12月の為替レートは、1ドル=4.02~4.21 レアル台で推移。

(イ) 月の前半は、11月26日に市場最安値となる4.27 レアル台を付けた後に中銀が為替介入を実施したことや、3日に公表された第3四半期のGDP成長率が予想を上回ったことを材料に4.05 レアル台へと上昇した。4日にトランプ米大統領がブラジルの鉄鋼・アルミニウム製品に追加課税を課すと発表して、一時レアル安に傾いたが、その後に追加関税は実施しないとの報道があり、レアルが続伸した。

(ウ) 月の後半は、米中関税合意に対する期待感から4.05~4.10 レアルで取引され、月末には1ヶ月半ぶりの高水準となる4.02 レアル/ドルとなった。

4. 株式市場

12月のブラジルの株式相場（Ibovespa）は、108,900~117,200 ポイントで推移。月の前半に発表された、第3四半期GDP成長率や10日に中銀が市場予想通り利下げを実施したことを受けて上昇した。月の後半は史上最高値である117,200ポイントを更新し、終値では115,645ポイントとなった。

2. ブラジル政治情勢

【内政】

(1) 第 25 回閣議の開催

17 日、ボルソナーロ大統領は、2019 年最後となる第 25 回閣議を開催した。冒頭、ボルソナーロ大統領は、政権一年目は閣僚の汚職もなく成功であったと述べた。ロレンゾーニ文官長は、2019 年の取組の概要を説明し、伯における信頼の回復を強調した。

(2) 軍人年金改革の成立

17 日、ボルソナーロ大統領は、軍人年金改革案を含む軍組織再編法案を裁可した。主な変更点は、軍人の社会保険料納付期間の引上げ（30 年から 35 年へ）。同法案の成立に伴い、今後 10 年間で 973 億レアルの歳出削減が見込まれる。

(3) 2020 年予算案の議会承認

17 日、連邦政府の 2020 年予算案が議会で承認された。同予算総額は約 3.6 兆レアル、プライマリーバランスの赤字目標額は約 1,241 億レアルを計上。本年の統一地方選挙資金向け予算は 20 億レアルとなった。今後、同法案は大統領裁可へ進む予定。

(4) 犯罪対策法案の成立

24 日、ボルソナーロ大統領は、議会で承認された治安対策法案を裁可し、同法案が成立した。主な変更点は、有期刑の上限引上げ（30 年から 40 年に引上げ）。同法は 1 月 23 日に公布される予定。

【外交】

(1) サレス環境大臣の COP 25 出席

2～15 日、サレス環境大臣は、マドリードで開催された国連気候変動枠組条約第 25 回締約国会議（COP25）に出席し、パリ協定第 6 条の実施の重要性を主張した。

(2) ボルソナーロ大統領のメルコスール首脳会合出席

5 日、ボルソナーロ大統領は、リオグランデドスル州ベント・ゴンサルヴェス市で開催されたメルコスール首脳会合で議長を務めた。同会合の共同声明では、EU 及び EFTA との FTA の早期署名へ向けたコミットメントを再確認し、また、対外共通関税の見直しを本年上半期に完了する旨言及した。

(3) アラウージョ外務大臣のアフリカ諸国歴訪

9～13 日、アラウージョ外相は、カーボベルデ、セネガル、ナイジェリア及びアンゴラを訪問し、各国外相等と会談を行った。

(4) モウラオン副大統領のアルゼンチン新大統領就任式出席

10日、モウラオン副大統領は、フェルナンデス・アルゼンチン大統領就任式に出席した。

(5) 伯米首脳電話会談

20日、ボルソナーロ大統領は、トランプ米国大統領と電話会談を行い、伯産の鉄鋼及びアルミニウムに対する追加関税を回避した旨、SNSを通じて発表した。

3. トピックス

(1) 伯日友好議連メンバーを招待した山田大使主催のレセプションの開催

10日、山田大使は、大使公邸にて、伯日友好議連メンバー等を招待したレセプションを行った。このレセプションには、伯日友好議連所属議員を中心とした伯連邦議員や伯外務省関係者等約30名が参加した。

冒頭、山田大使より、日伯関係強化における議員の存在は非常に重要であり、本年、安倍総理とボルソナーロ大統領は計三回の首脳会談を行い、良好な日伯関係をさらに強化するモメンタムが高まっている、2020年も、政治、経済、科学技術、文化、スポーツ等幅広い分野で両国の交流を深めていきたい、議連の皆様の御協力を期待している旨述べた。

その後、ルイス・ニシモリ伯日友好議連会長及びビートル・リッピ伯日友好議連副会長が来賓挨拶を行い、レセプションでは、今後の日伯関係の協力のあり方につき、幅広い意見交換が行われた。

(2) 山田大使によるサンパウロ州訪問

11～14日にかけて、山田大使は、サンパウロ州を訪問した。

11日、山田大使は、フォーリャ・デ・サンパウロ紙関係者と懇談した。その後、日ブラジル友好病院拡張工事定礎式に出席し、同病院のこれまでの地域医療及び日系社会に対する多大な貢献に敬意を表した。同日夜、ジャパンハウス・サンパウロにおいて、「日伯関係半世紀と今後の展望」と題する講演を行った（原稿は別添）。

12日、山田大使は、クルゼイロ・ド・スル大学遠隔授業拠点の一つであるサンパウロ市大学（UNICID）を訪問し、日本語・ポルトガル語教師養成のための遠隔授業コンテンツの制作スタジオを視察した。その際、ルイス・アマラウ・クルゼイロ・ド・スル大学長及びシウヴィア・アウベルト教授から、同遠隔授業コースの説明を受けた。同日、山田大使は、令和元年度官民合同会議に出席し、ブラジル各州の日本商工会議所の代表と、ビジネス上の課題や現状等について、意見交換を行いました。

13日、山田大使は、ブラジルに所在する日本国公館の長が一同に会する在伯公館長会議に出席し、日ブラジル関係に関する活発な議論を行った。同日夜は、サンパウロ州の日系団体の代表と懇談した。

14日、山田大使は、ジャパンハウス・サンパウロにおいて、「日本のマンガ～過去、現在、未来」と題する講演を行った。その後、サンパウロ州カンピーナス市の東山農場を訪問し、日系人の方々と歓談するとともに、餅つき大会に参加した。

(3) 令和元年度官民合同会議の開催

12日、サンパウロ市ジャパン・ハウスにおいて、令和元年度官民合同会議が開催された。

今回の官民合同会議では、ブラジル商工会議所、アマゾナス日系商工会議所、南伯日本商工会議所、パラナ日伯商工会議所、リオデジャネイロ日本商工会議所、パラー日系商工会議所の各代表と、外務省の中南米局及び在ブラジル日本国大使館を始めとする在伯8公館並びに JICA, JBIC 及び JETRO の各代表等合わせて約40名が参加した。

在ブラジル日本国大使館からは山田大使が出席し、開会の挨拶において、本年は日伯首脳会談が三度行われ、緊密な両国の首脳間の交流により、日ブラジル関係の強化に向けたモメンタムは高まっていると述べた。

また、ブラジルは、経済改革を通じて新しいブラジルへの移行を目指しており、貿易自由化を積極的に推進していること、日伯経済関係は更に強化していく余地が大きいこと、そのためにブラジルとの経済対話と交流を通じて、ビジネス環境の整備を図り、両国間の経済関係の強化と貿易・投資の拡大の一助となるよう官民一体となって取り組んでいくことが重要である旨述べた。

一般の会議では、官側と民間側それぞれにおける最近の活動状況について報告を行うとともに、ビジネス環境整備、他国企業の影響等に関して、活発な意見交換が行われた。

本会議での議論が今後のブラジルにおける日系企業の一層の発展及び日伯経済関係の強化につながっていくことが期待される。

(4) 第23回レシフェ日本市の開催（在レシフェ総領事館）

11月24日（日）、レシフェ市の恒例行事である「第23回レシフェ日本市」が開催された。今回は日本市のテーマを「令和」とし、レシフェ日本文化協会及び東北伯日本留学生・研修生の会で構成される日本市実行委員会、レシフェ市役所及び当館との共催で実施された。

舞台プログラムでは、レシフェ日本文化協会の和太鼓グループによる演奏、Jポップ、アニメ、武道に加え、サンパウロの日本舞踊グループ「優美」が幽玄な舞踊を披露し、多くの観客を魅了した。リモエイロ市の日本語講座からも参加があり、レシフェ日本市を盛り上げた。

また参加者たちは会場の各ブースにおいて生け花、折り紙等の展示や各種ワークショップを楽しんだ他、日本食にも舌鼓を打った。



丸橋総領事による挨拶



舞踊グループ「優美」の舞台①



舞踊グループ「優美」の舞台②



鏡割の酒の配布

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 少女漫画パワー展 (レシフェ)

日時：2020年1月7日(火)～2020年2月7日(金)

場所：ヒカルドベルナンド博物館 - R. Mário Campelo, 700 - Várzea, Recife - PE

内容：作家の時代ごとに区分した少女漫画の作品をヒカルドベルナンド博物館にて展示。

URL：<https://www.institutoricardobrennand.org.br>

(イ) 鈴木清順監督特集上映会 (サンパウロ)

日時：2020年1月21日(火)～2月9日(日)

場所：モレイラサレス財団サンパウロ - Av. Paulista, 2424, São Paulo - SP

内容：鈴木清順監督の作品を特集した上映会を実施。

URL：<https://ims.com.br/unidade/sao-paulo/>

(ウ) 海外巡回展「東京ビフォー／アフター」 (サンパウロ)

日時：2020年1月25日(土)～2020年3月22日(日)

場所：カイシャ銀行文化センターサンパウロ - Praça da Sé, 111 - Centro, São Paulo - SP

内容：写真展「東京ビフォー／アフター」をサンパウロのカイシャ銀行文化センターにて展示。

また、展示にあわせて写真展「東京ビフォー／アフター」のキュレーターである写真評論家の飯沢耕太郎氏を招へいし、講演会を実施。

URL：<http://www.caixacultural.com.br/SitePages/unidade-home.aspx?uid=9>

(エ) 第7回日本研究コロキウム (サンパウロ)

日時：1月30日(木) 19:30～21:00

場所：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館 - Avenida Paulista, 52 - 3º andar, São Paulo - SP

内容：国際交流基金サンパウロ日本文化センターとサンパウロ大学日本文化研究所との共催により、日本研究事業の一環として、若手日本研究従事者による発表会を開催。

URL：<https://fjsp.org.br/>

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域(ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏)を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジルア連邦区 (継続)
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市 (継続)
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏 (継続)
- ・アマゾナス州大マナウス圏 (継続)
- ・ロライマ州北部 (新規)
- ・パラ州大ベレン圏 (継続)
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏 (継続)
- ・バイア州大サルバドール圏 (継続)
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏 (新規)
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏 (継続)
- ・パラナ州大クリチバ圏 (継続)
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市 (継続)

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html